

## 施設の紹介

地球研では、いわゆる地球環境問題の根源を、ことばの最も広い意味における人間の「文化」の問題であるという基本認識をもっています。そして複雑な人間という存在と自然との多様な関係の解明を目指して、いわゆる理系・文系など既成の分野を超えた真の総合的な学問の基盤形成を目指しています。そのためには、そこに集うスタッフが絶え間なく議論を繰り返し、互いに切磋琢磨できる環境の整備が肝要であると考え、これが設計の第一のコンセプトとなっている施設です。

地球研施設にある研究室は、なだらかに弧を描いた全長150mの大空間にすべての研究プロジェクトが有機的な連携をもつような開放的プランとして設計されています。内部だけでなく外来のさまざまな研究者が相互に接触できる施設の共同利用性の機能を最優先するように配慮したものとなっています。研究プロジェクトごとの独自性にもとづく共同研究を可能にし、しかもそれらを相互に有機的につなぐ空間配置が特徴となっています。建物のほぼ中央には、多くの人が利用する図書室や情報処理室を配置するとともに、日常的な議論を行うために3つのサロンの空間も準備されています。また、地階には、機能に応じた実験室がクラスター群として設置され、研究室と同様、共同利用における利便性と連携性を重視した設計となっています。

別棟になっている「地球研ハウス」は、宿泊を主として設備した施設です。ハウス入り口左手にあるアセンブリーホールとダイニングサロンは、宿泊者に限ることなく地球研関係者が集う場所としてオープンに使えるようになっています。

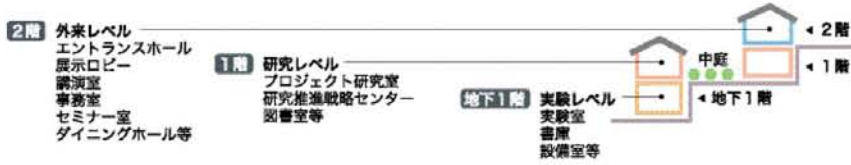
地球環境を研究する機関にふさわしく、京都の景観と違和感のない瓦葺きの建物となっており、施工前にあった樹木もできるだけ活かして工事を行いました。採光や空調に関しても、環境へのインパクトを抑えるための最新の工夫がなされています。このような設計が高く評価され、これまでに、照明普及賞（優秀施設賞）、日本建築家協会優秀建築選、国際不動産見本市「MIPIMアジア」グリーン・ビルディング部門最優秀賞、2008年日本建築学会作品選奨などに選ばれています。



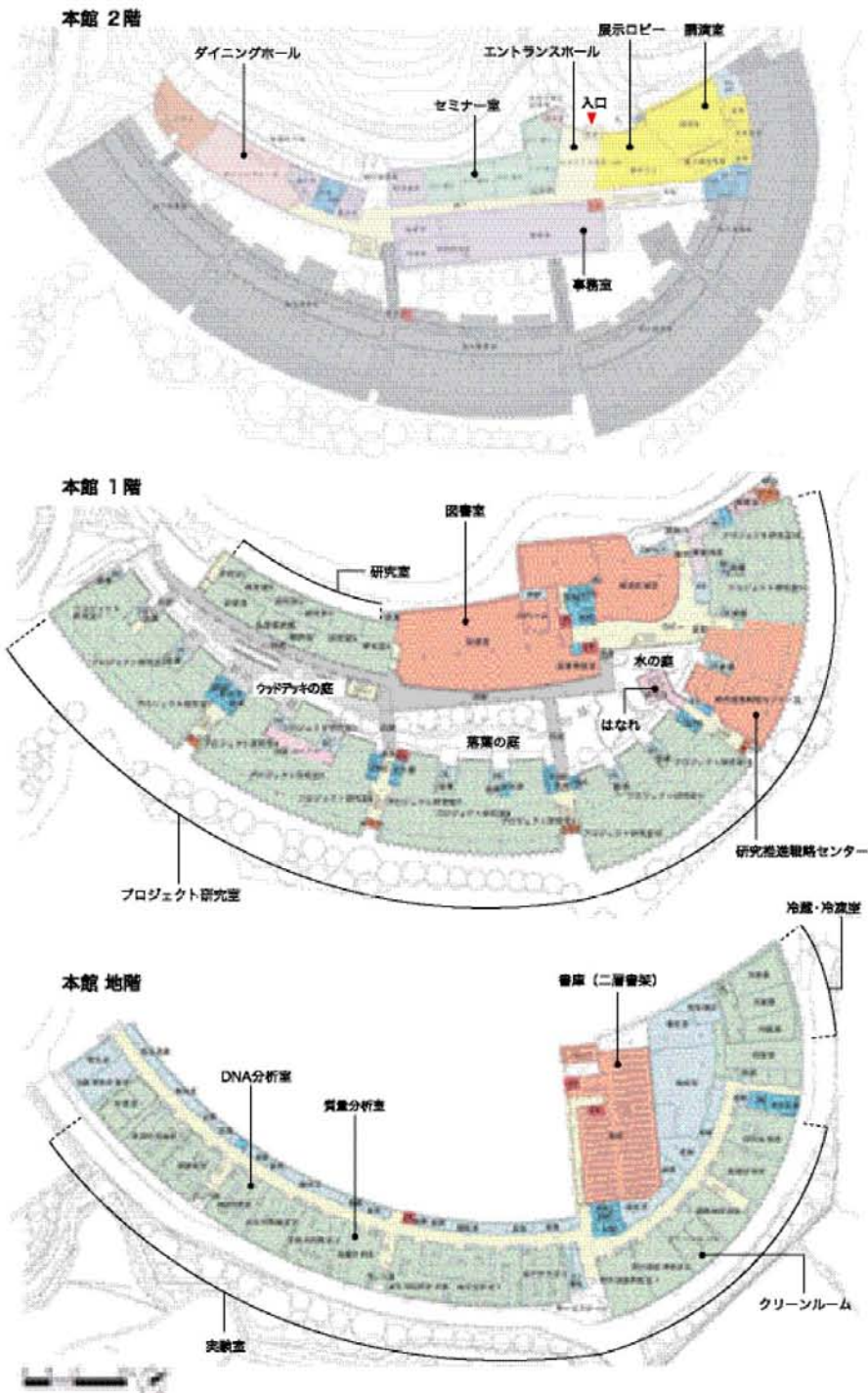
〈左〉本館の外観 風景ととけ込むように感じる落ち着いた外観です  
〈右〉プロジェクト研究室 3つの研究プロジェクトが入った大スペースが5つつながっています。天井から自然光がたっぷり入るよう工夫されています



■ 本館立面図



■ 本館平面図



〈写真上から〉  
エントランスホールと展示ロビー 地球研の活動を紹介する展示を計画しています  
中庭(ウッドデッキの庭)人と建物と自然が一体となって交流できる場所として、水の庭、落葉の庭、ウッドデッキの庭からなる中庭をもうけました。中庭をはさんで、研究室や情報処理室などが集約しています  
はなれ「水の庭」に浮かぶように建てられた和風の談話室です。中央には掘りこたつ式のテーブルがあり、四方には簾(すだれ)がかかっています  
実験室 多様かつ高度な実験に対応できるように設計されています。最先端の質量分析装置など、多くのプロジェクト研究を支援する環境が整備されつつあります  
地球研ハウス 国内外の研究者の短期宿泊、長期滞在が可能です。ゲストと地球研スタッフの交流の場が設けられています

# 組織

## 沿革

- 1995 (平成 7年) 4月 ●「地球環境科学の推進について」(学術審議会建議)  
「地球環境問題の解決を目指す総合的な共同研究を推進する中核的研究機関を設立することを検討する必要がある。」
- 7月 ●文部省、学術審議会建議を受け「地球環境科学の研究組織体制の在り方に関する調査研究会」を設置
- 1997 (平成 9年) 3月 ●「地球環境科学に関する中核的研究機関のあり方に関する研究報告書」(地球環境科学の中核的研究機関に関する調査研究会)
- 6月 ●「地球環境保全に関する当面の取組」(地球環境保全に関する関係閣僚会議)  
「幅広い学問分野の研究者が地球環境問題について、総合的に研究を行うことができるよう、地球環境科学の研究組織体制の整備に関する調査研究を行う。」
- 1998 (平成10年) 4月 ●地球環境科学研究所(仮称)の準備調査を開始
- 2000 (平成12年) 3月 ●地球環境科学研究所(仮称)準備調査委員会、人文・社会科学から自然科学にわたる学問分野を総合化し、国内外の大学、研究機関とネットワークを結び、総合的な研究プロジェクトを推進するための「総合地球環境学研究所(仮称)」の創設を提言
- 4月 ●総合地球環境学研究所(仮称)創設調査室を設置するとともに創設調査機関に創設調査委員会を設置
- 2001 (平成13年) 2月 ●「総合地球環境学研究所(仮称)の構想について」(最終報告)(創設調査委員会)
- 4月 ●総合地球環境学研究所の創設  
国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(平成13年政令第151号)の施行に伴い、総合地球環境学研究所を創設し、京都大学構内において研究活動を開始。初代所長に日高敏隆が就任
- 2002 (平成14年) 4月 ●旧京都市立春日小学校(京都市中京区)へ移転
- 2004 (平成16年) 4月 ●大学共同利用機関の法人化に伴い、「大学共同利用機関法人 人間文化研究機構」に所属
- 2005 (平成17年)12月 ●新施設(京都市北区上賀茂本町)竣工
- 2006 (平成18年) 2月 ●旧春日小学校より新施設(京都市北区上賀茂本町)へ移転  
5月 ●総合地球環境学研究所施設竣工記念式典を実施
- 2007 (平成19年) 4月 ●立本成文が第二代所長に就任  
10月 ●研究推進センターを研究推進戦略センターに改組



創設時の地球研(2001年4月～2002年3月)

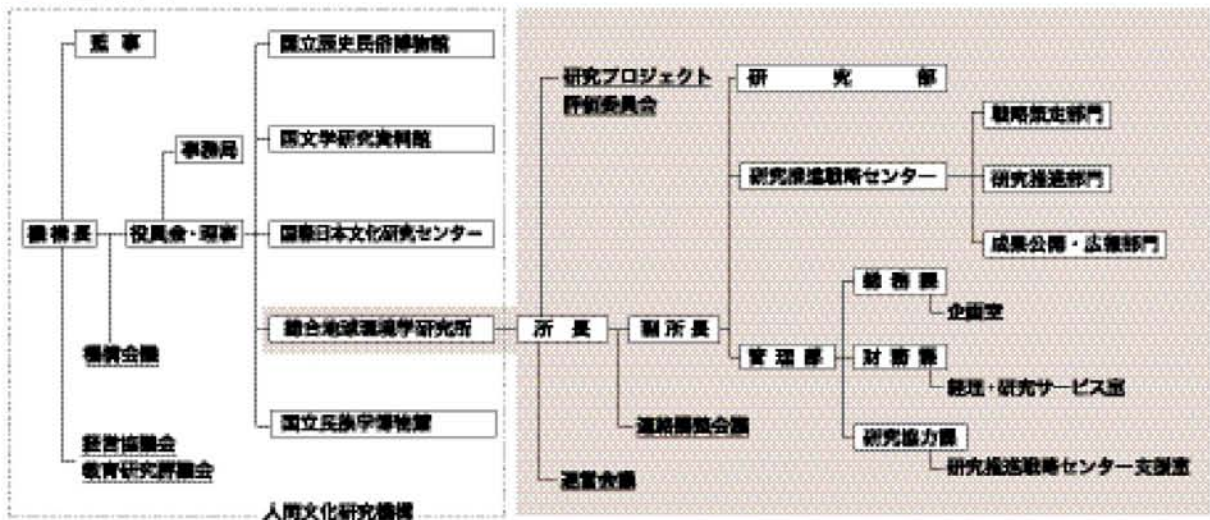


旧春日小学校時代の地球研(2002年4月～2006年1月)



現在の地球研(2006年2月～)

## ● 組織図



## ● 財務・外部資金等

### ■ 財務セグメント情報 (平成18年度)

#### 業務費用

種別	金額(千円)
業務費	2,236,859
共同利用・共同研究経費	1,120,735
教育研究支援経費	51,905
受託研究費	71,384
受託事業費	7
人件費	992,827
一般管理費	149,636
財務費用	83,153
雑損	34
<b>費用計</b>	<b>2,469,683</b>

#### 業務収益

種別	金額(千円)
運営費交付金収益	2,171,024
受託研究等収益	84,681
受託事業等収益	7
寄附金収益	22,800
その他	251,409
<b>収益計</b>	<b>2,529,923</b>

業務損益

60,240

### ■ 外部資金等受入額 (平成18年度)

区分	金額(千円)
産学連携等研究費	84,682
科学研究費補助金	133,990
奨学寄附金	33,200

※産学連携等研究費は、受託研究及び共同研究経費を合算したものです。

## ● 運営組織と役割

### ■ 運営会議 研究所の人事、事業計画、その他管理運営に関する重要事項について審議します。

岩坂泰信	金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授	秋道智彌	総合地球環境学研究所副所長／プログラム主幹／研究推進戦略センター長
上田 博	名古屋大学地球水循環研究センター長	佐藤洋一郎	総合地球環境学研究所プログラム主幹
白幡洋三郎	国際日本文化研究センター研究部教授	早坂忠裕	総合地球環境学研究所プログラム主幹
藤井理行	国立極地研究所長	湯本貴和	総合地球環境学研究所プログラム主幹
古澤 巖	鳥取環境大学長	渡邊紹裕	総合地球環境学研究所プログラム主幹
横山俊夫	京都大学副学長／大学院地球環境学学術教授	阿部健一	総合地球環境学研究所研究推進戦略センター教授
米本昌平	東京大学先端科学技術研究センター産学官連携研究員・特任教授		
鷲田清一	大阪大学総長		

### ■ 研究プロジェクト評価委員会 研究所の特定共同研究に関し、必要な事項を専門的に調査審議します。

(国内委員)		(海外委員)	
岩坂泰信	金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授	BELLWOOD, Peter; Professor, Archaeology and Natural History, The Australian National University, Australia	
植田和弘	京都大学大学院地球環境学学術教授	FU, Congbin (符 淳斌); Director, START Regional Center for Temperate East Asia, Institute of Atmospheric Physics, Chinese Academy of Sciences, China	
大塚柳太郎	国立環境研究所理事長	IKAWA-SMITH, Fumiko (井川史子); Former Associate Vice Principal McGill University, Canada	
田中耕司	京都大学地域研究統合情報センター長	LOVEJOY, Thomas E.; President, The H. John Heinz III Center for Science, Economics and the Environment, USA	
丹羽雅子	奈良女子大学名誉教授	OHMURA, Atsumu (大村 稔); Professor, Swiss Federal Institute of Technology, Switzerland	
古澤 巖	鳥取環境大学長		
山形俊男	東京大学大学院理学系研究科教授		
横山俊夫	京都大学副学長／大学院地球環境学学術教授		

### ■ 連絡調整会議 研究所の円滑な運営を図るため、研究所の管理運営に関する重要事項を審議します。

立本成文	所長	湯本貴和	プログラム主幹
秋道智彌	副所長／プログラム主幹／研究推進戦略センター長	渡邊紹裕	プログラム主幹
佐藤洋一郎	プログラム主幹	古屋 勇	管理部長
早坂忠裕	プログラム主幹		

※その他、研究所の業務に関して必要な事項を専門的に審議し、また、実施に当たするため、各種委員会を設置しています。

## ● 顧問 日高敏隆

## ● 名誉教授 中西正己 / 日高敏隆 / 和田英太郎

## ● 所員 ■ 所長 立本成文 ■ 副所長 秋道智彌 (併任)

### 管理部 ■ 部長 古屋 勇

#### ■ 総務課

課長	植村 剛
課長補佐	石井幸二
総務係	係長 常深裕之 係員 石地啓介
人事係	係長 水谷幸弘 主任 稲葉茂雄 係員 中野裕代
企画室	室長 石井幸二 (併任)
企画評価係	係長 進藤健司 主任 澁谷一郎
情報係	係長 進藤健司 (併任)

#### ■ 財務課

課長	南部真一
課長補佐	中久保隆雄
司計係	係長 奥村 東 係員 矢野哲也
施設マネジメント係	係長 西川知延
経理・研究サービス室	室長 中久保隆雄 (併任)
経理・研究サービス係	係長 佐藤文昭 主任 伊勢本 崇 主任 山林伸子

#### ■ 研究協力課

課長	川満信男
課長補佐	石田弥太郎
研究協力係	係長 大井俊二 係員 道山智子
国際交流係	係長 尾形里加
研究推進戦略センター支援室	室長 石田弥太郎 (併任)
研究推進係	係長 小野 太

## 研究部

### ■プログラム主幹

秋道智彌 (併任)  
佐藤洋一郎 (併任)  
早坂忠裕 (併任)  
湯本貴和 (併任)  
渡邊紹裕 (併任)

### ■教授

長田俊樹 (言語学)  
川端善一郎 (微生物生態学)  
木下鉄矢 (中国思想史)  
佐藤洋一郎 (植物遺伝学)  
高相徳志郎 (植物形態学)  
中野孝教 (同位体環境学)  
門司和彦 (人類生態学)  
山村則男 (数理生態学)  
湯本貴和 (植物生態学)

### ■准教授

市川昌広 (アジア地域研究)  
内山純蔵 (先史人類学)  
梅津千恵子 (環境資源経済学)  
奥宮清人 (フィールド医学)  
窪田順平 (森林水文学)  
酒井章子 (植物生態学)  
鄭 耀軍 (環境統計学)  
関野 樹 (兼務)  
白岩孝行 (雪氷学)  
谷口真人 (水文学)  
縄田浩志 (文化人類学)

### ■助教

遠藤崇浩 (政治学)  
加藤雄三 (法史学)  
佐伯田鶴 (大気物理学)  
谷田貝亜紀代 (気象・気候学)

### ■客員教授

井上隆史 (テレビドキュメンタリー制作)  
井上 元 (大気化学)  
光谷拓実 (年代年輪学)  
村松 伸 (建築史・都市史)

### ■客員准教授

渡辺千香子 (アッシリア学)

### ■招へい外国人研究員

AJITHFRASAD, Pottentavida  
(考古学)  
CHOY, Yee Keong  
(環境・国際経済)  
DELINOM, Robert M.  
(水文地質学)  
EVANS, Tom (地理学)  
FLINT, Lawrence S.  
(アフリカ研究・国際開発)  
MULENGA, Chileshe Leonard  
(経済地理学)  
SHAMOV, Vladimir V.  
(水文学)

### ■プロジェクト上級研究員

大西健夫 (水文学)  
大西正幸 (言語類型論)  
勝山正則 (森林水文学)  
木本行俊 (植物分類学)  
久米 崇 (土壌水文学)  
承 志 (東洋史学)  
丹野研一 (考古植物学)  
野津雅人 (気象・気候学)  
長谷川成明 (理論生態学)  
源 利文 (分子生態学)  
森 若葉 (言語学)  
Lekprichakul, Thamana  
(医療経済学)

### ■プロジェクト研究員

石根昌幸 (フィールド医学・老年医学)  
石丸恵利子 (動物考古学)  
石山 俊 (文化人類学)  
市川智生 (医療史)  
一條知昭 (環境微生物学)  
井上充幸 (東洋史)  
岩谷洋史 (文化人類学)  
上杉彰紀 (考古学)  
内井喜美子 (微生物生態学)  
Carlos Renzo Zeballos Velarde  
(都市環境計画)  
川瀬大樹 (植物生態学)  
川本温子 (レーダ気象学)  
岸本圭子 (昆虫生態学)  
木村栄美 (日本中世史)  
駿田 崇 (哲学)  
小泉 都 (民俗植物学)  
小坂康之 (民族植物学)

蔡 国喜 (社会医療調査)  
坂本龍太 (国際保健学)  
佐々木尚子 (植生史学)  
白木洋平 (環境動態学)  
瀬尾明弘 (植物分類学)  
高木麻由美 (歴史文学)  
田中克典 (植物遺伝学)  
辻 貴志 (生態人類学)  
辻野 亮 (植物生態学)  
寺村裕史 (考古学)  
東城文柄 (地域研究・林学)  
中川昌人 (植物生態学)  
中村 大 (日欧考古学)  
中村 亮 (文化人類学)  
奈良間千之 (自然地理学)  
野村尚史 (植物生態学)  
林 直樹 (農村計画学)  
細谷 葵 (植物考古学)  
本庄三恵 (微生物生態学)  
前川 愛 (文化人類学)  
松川太一 (社会学)  
宮嶋英寿 (土壌学)  
村上由美子 (考古学)  
安成哲平 (雪氷・気象学)  
安元 純 (地下水工学)  
山中裕樹 (水域生態学)  
山本圭香 (衛星測地学)  
渡邊三津子 (自然地理学)

### ■プロジェクト研究推進支援員

伊吹直美  
入江有紀  
大谷めぐみ  
岡本高子  
沖田弘子  
嘉村 望  
川口珠生  
齋藤 晋  
園田 建  
高橋敏子  
藤本まりか  
細井まゆみ  
武笠明子  
安田恵子  
山崎かほり  
余田 眞

### ■地域研究推進センター研究員/ 中国環境問題研究拠点研究員

児玉香菜子 (文化人類学)

## 研究推進戦略センター

### ■センター長 秋道智彌 (併任)

#### ■教授

秋道智彌 (生態人類学)  
阿部健一 (相関地域学) / 成果公開・広報部門長  
齋藤清明 (ジャーナリズム)  
中野孝教 (兼務)  
早坂忠裕 (大気物理学) / 研究推進部門長  
渡邊紹裕 (農業土木学) / 戦略策定部門長

#### ■准教授

関野 樹 (情報学)

#### ■助教

神松幸弘 (動物生態学)

# 交通案内



## ■ JR京都駅からお越しの場合

地下鉄烏丸線「国際会館」駅下車。3番または4-1番出口から国際会館前バス乗り場「2」より京都バス40系統「京都産業大学前經由市原ゆき」または50系統「市原ゆき」に乗車(約6分)し、「地球研前」下車。

## ■ 京阪沿線からお越しの場合

京阪本線「出町柳」で叡山電鉄鞍馬線に乗換えて「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

## ■ 車・タクシーでお越しの場合

地下鉄烏丸線「国際会館」駅から「二軒茶屋」方面へ(約5分)。